

# 患者の皆様へ

2023年10月20日  
糖尿病代謝内分泌内科

現在、糖尿病代謝内分泌内科では、「原発性アルドステロン症の病型診断における新規指標の開発」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2023年10月から2027年3月までの間に原発性アルドステロン症にて治療を行われた患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名

原発性アルドステロン症の病型診断における新規指標の開発

## 2. 研究の意義・目的

当院と関連施設における原発性アルドステロン症における新たな診断基準となる指標を探索することを目的としています。

## 3. 研究の方法

2023年10月から2027年3月までの間に手術療法もしくは薬物療法を行われた原発性アルドステロン症患者さんの診療録に記載されている調査項目と血液検査値、CT検査より機械学習法にて病型診断の予測を行います。

### 調査項目

- (1) 患者背景：性別、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、前治療、血圧
- (2) 自覚症状の確認：カルテ記載から確認する。
- (3) 血液・尿検査：血清アルドステロン、血漿レニン活性、活性レニン定量、Na、K、Cl、血糖値、HbA1c、クレアチニン、eGFR、尿Na、尿K、尿Cl、尿中アルドステロン
- (4) 画像検索：腹部造影CTから副腎腫瘍の有無とある場合には大きさを計測

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように氏名・カルテIDを削除し、特定の個人が識別できないように加工をして取り扱います。それぞれ研究用のIDを付与し、研究用IDと氏名を一致させる対応表は、各機関で厳重に保管され、千葉大や他の機関に影響されることはありません。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学の鍵のかかる棚で保管します。

## 5. 外部への試料・情報の提供

千葉大学、済生会横浜市東部病院、東北大学病院からの検体は、富士レビオ株式会社へ提供されて、レニン、アルドステロンの測定がされます。試料以外の情報が提供されることはありません。

## 6. 研究組織

この研究は、以下の施設からも情報を提供いただいています。

済生会横浜市東部病院 糖尿病・内分泌内科 一城 貴政

東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科 佐藤文俊

富士レビオ株式会社 八王子事業所

## 7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関・研究代表機関：千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学**

**本件のお問合せ先：千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学**

**医師 田中 知明（研究代表者） 043 (226) 2170**

済生会横浜市東部病院 糖尿病・内分泌内科 一城 貴政  
電話番号 045-576-3000

東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科 佐藤文俊  
電話番号 022-717-7000